

第3章 自然環境の保全

第1節 自然環境の概況

本市は、北部の甘木山から東部は稲荷山、上徳山、大間山、三池山、高取山等の標高 180m から 388m の低山地帯が連なり、隈川、堂面川、大牟田川、諏訪川の二級河川が、東部の低山地帯から西部の有明海へと流れ込んでいます。臨海部には干潟が見られるほか、有明海上には、初島、三池島の人工島があります。また、市街地の中心部にある延命公園は、身近に親しめる貴重な自然とのふれあいの場となっています。

気候は温暖帯に区分され、自然植生は常緑広葉樹を主体とした照葉樹林帯に属します。また、市内各所の寺社や宅地の庭には、古くから市民に親しまれ、都市の良好な景観を形成している樹木等が見られます。これらは自然環境の保全上重要な価値があり、平成 27 年度の調査では、84 本の巨木（保存樹に指定してあるものの中で幹の周辺が 3 m 以上の樹木等）が確認されています。

地質は、新生代古第三紀層の地層が重なって分布しており、石炭産業が繁栄した本市では、古第三紀層の七浦層からたくさんの石炭が採掘されました。古第三紀層の地層の成り立ちをじかに見ることのできる貴重な稲荷層や米の山層の露頭があり、また動植物の化石が多く認められる勝立化石層などが存在しています。

第2節 貴重な動植物等

ここで紹介するのは、本市に生息する全国で個体数や種が減少し絶滅等が危惧されている貴重な動植物の一部です（この他にも多くの希少種が生息しています）。



○ニッポンバラタナゴ

コイ目コイ科。絶滅危惧ⅠA類（環境省レッドデータブック）。全長 5 cm、淡水二枚貝の中に卵を産みつける。水草の多い所、砂泥底や泥底を好み、池沼などに生息している。



○センベイアワモチ

異鰓目ドロアワモチ科。絶滅危惧Ⅰ類（環境省レッドデータブック）。全長 4 cm、汽水域のヨシ原に近い泥干潟や転石の下などにすむ。生息環境である河川等の汽水域の開発による消失などで個体数が激減している。



○ベニアジサシ

チドリ目カモメ科。絶滅危惧Ⅱ類（環境省レッドデータブック）。夏鳥としてオーストラリアから奄美・沖縄諸島に渡来・繁殖し鹿児島県の馬毛島が北限とされていたが、94年に三池島で発見され、三池島が繁殖地の北限であることが確認された。

第3節 自然環境調査及び保全

本市には、豊かな自然が多く残されているものの、宅地開発や生活排水の流入等の人間活動によって自然環境の変化や生物種の喪失が危惧されています。また、国外や国内の他地域から意図的・非意図的に外来種が導入されることにより、在来種に様々な影響が生じています。

本市では、自然環境の保全を重要な課題の一つと位置づけ、自然環境に関する調査を実施し、自然環境保全の基礎資料としています。

1 自然環境調査

本市では、平成 11、12 年度に全市的な自然環境調査を行い、報告書を出しています。

その報告書以降は、本市の自然環境データの蓄積、自然環境変化のモニタリングとして、平成 15 年度から毎年度、対象地域を決定し、グリーンセンサス（定期的な自然環境調査）を行っています。

これまでに実施した調査地域は表 3-3-1 のとおりです。調査結果は、自然環境保全の基礎資料とするとともに市民の啓発に資するため、報告書にまとめて、市の情報公開センターで公表するとともに市のホームページでも公開しています。



大牟田市自然環境調査報告書

表 3-3-1 調査地域

年度	調 査 地 域
15	堂面川水系白銀川
16	三池島
17	ホタル生息地、岬地区塩性湿地、旧三池海水浴場
18	三池山
19	延命公園（片平山）
20	甘木山
21	三塚山、高取山
22	大間山
23	櫛野地区、上内地区
24・25	諏訪川河口区域、岬町塩性湿地区域
26	四ヶ地区
27	稻荷山地区
28	黒崎公園・隈川河口域地区
29-30	三池山
R 01	延命公園

2 自然環境の保全

（1） 開発行為に対する意見等

都市計画法に基づく開発行為について、開発事業が自然環境に与える影響を最小化するため、開発を行う者に対して、自然環境の保全を図るよう意見書による指導を行っています。

（2） 自然観察用マップ「大牟田の自然」の配布

本市は、山、川、海と自然に恵まれた地域で、様々な生き物が生息しています。そこで、市民に自然環境に目を向けてもらうため、どこにどのような生き物が生息しているかを記したマップを希望者に配布しています。



大牟田の自然

(3) その他の保全施策

ア 鳥獣保護区

野生鳥獣の保護繁殖を図ることを目的として、本市においては、次の2区域を県が鳥獣保護区として指定し、狩猟による鳥獣の捕獲を禁止しています（表 3-3-2）。

表 3-3-2 鳥獣保護区の内容

鳥獣保護区名称	面積	期間	鳥獣生息状況
甘木山 鳥獣保護区	555ha	平成 24 年 11 月 15 日から 令和 4 年 11 月 14 日まで	(鳥類) カイツブリ、ゴイサギ、メジロ、コゲラ等 約 34 種 (獣類) ノウサギ、タヌキ、イノシシ等
三塚山 鳥獣保護区	585ha	平成 23 年 11 月 15 日から 令和 3 年 11 月 14 日まで	(鳥類) カイツブリ、ツグミ、メジロ、ダイサギ等約 27 種 (獣類) ノウサギ、タヌキ、イノシシ等

イ 野生鳥獣保護モデル校

県では野生鳥獣の保護活動等に積極的に取り組んでいる小・中学校を対象に「野生鳥獣保護モデル校」の指定をしています。本市では大牟田中央小学校が指定校となっています。
(平成 29～令和 3 年度)

ウ 「緑の基本計画」に基づく施策の展開

緑は、良好な景観を形成し、都市の気象緩和や生物の生息・生育空間の保全に資するとともに、身近に親しめる自然とのふれあいの場など多様な機能を有しています。

本市では、平成 12 年度に緑が持つ機能の重要性を認識し、緑を市民共有の財産として守り育てていくために、緑を守る、緑をつくる、緑と共に生きるを基本方針とする「緑の基本計画」を策定しました。

令和元年度は、この実施計画に掲げる緑化施策として、緑化啓発イベントである「よみがえる水と緑の環境フェア」を開催し緑化意識の高揚を図りました。

また、緑豊かで快適な都市環境を確保するために「大牟田市緑化の推進及び樹木等の保存に関する条例」に基づき、115 本（令和元年度末現在）の保存樹の指定を行うとともに「まちの美^み緑^{りよく}花^かボランティア制度」などを活用し、市民との協働による都市景観の向上に努めました。

環境保全に関する資料

1 大気	63
（1）自動測定機による大気環境測定結果	63
（2）浮遊粉じん中の重金属測定結果	65
（3）有害大気汚染物質測定結果	66
（4）大気汚染防止法に基づく届出状況	67
2 ダイオキシン類対策特別措置法に基づく届出状況	67
3 水質	68
（1）補助地点における河川の水質調査結果	68
（2）流入水路（生活排水）の水質調査結果	70
（3）大牟田エコタウン雨水調整池調査結果	70
4 騒音・振動	71
（1）騒音規制法に基づく特定施設の届出状況	71
（2）振動規制法に基づく特定施設の届出状況	71
（3）福岡県公害防止等生活環境の保全に関する 条例に基づく騒音に係る特定施設の届出状況	71
（4）騒音規制法及び振動規制法に基づく特定建設作業の届出状況	72
（5）自動車騒音・道路交通振動測定結果	72
（6）自動車騒音面的評価結果	73
（7）一般地域の環境騒音測定結果	74
5 環境保全に関する主な出来事	74

1 大気

(1) 自動測定機による大気環境測定結果

ア 二酸化硫黄

(令和元年度)

	1 時間値が 日平均値が 日平均値が0.04 環境基準の長期										
	有 効 測 定 (年)	0.1ppmを超	0.04ppmを	1 時間	日 平均 値	日 平均 値が0.04	環 境 基 準 の 長 期				
	測定日数 時 間 平均 値	えた時間数	超えた日数	値 の	の 2 %	ppmを超えた日	的評価による日				
		とその割合	とその割合	最高値	除外値	が 2 日以上連続	平均値が0.04ppm				
	日	時間	ppm	時間	%	日	%	ppm	ppm	有 ・ 無	日
国設大牟田	364	8711	0.001	1	0.0	0	0.0	0.101	0.008	無	0
三川	336	8011	0.002	0	0.0	0	0.0	0.090	0.008	無	0
新地	365	8717	0.002	0	0.0	0	0.0	0.067	0.008	無	0
七浦	354	8421	0.003	1	0.0	0	0.0	0.112	0.008	無	0
橘	360	8596	0.002	1	0.0	0	0.0	0.159	0.010	無	0
勝立	365	8648	0.002	2	0.0	0	0.0	0.108	0.007	無	0

イ 二酸化窒素

(令和元年度)

	1時間値が 1時間値が 日平均値が 日平均値が 98%値													
	有効測定 測定日数	時間	(年)	1時間 平均値	0.2ppmを超 えた時間数 と最高値	0.1ppm以上 0.2ppm以下 の割合	0.06ppmを 超えた日数 と割合	0.04ppm以上 0.06ppm以下 の日数と 割合	日平均値 の評価による 日平均値が 98%値 0.06ppmを 超えた日数					
日	時間	ppm	ppm	時間	%	時間	%	日	%	日	%	ppm	日	
国設大牟田	365	8650	0.008	0.074	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.020	0
三川	365	8714	0.007	0.053	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.016	0
新地	366	8715	0.012	0.080	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.028	0
橘	365	8713	0.006	0.046	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.012	0
勝立	365	8717	0.005	0.041	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.013	0
不知火	362	8607	0.010	0.073	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.022	0

ウ 一酸化窒素・窒素酸化物

(令和元年度)

	有効 測定日数	測定時間	(年) 平均値	1時間値 の最高値	日平均値 の98%値	平均値における NO ₂ /(NO+NO ₂)
	日	時間	ppm	ppm	ppm	%
国設大牟田	365	8650	0.004 0.012	0.228 0.271	0.022 0.040	66.7
三川	365	8714	0.002 0.009	0.152 0.181	0.014 0.026	78.8
新地	366	8715	0.010 0.022	0.282 0.326	0.037 0.064	56.7
橘	365	8713	0.001 0.006	0.063 0.090	0.004 0.015	86.7
勝立	365	8717	0.001 0.006	0.087 0.105	0.008 0.019	83.6
不知火	362	8607	0.007 0.016	0.227 0.292	0.025 0.051	59.0

※ 上段：一酸化窒素 下段：窒素酸化物

エ 一酸化炭素

(令和元年度)

	8 時間値が 日平均値が 日平均値が10 環境基準の長期 1 時間値が											
	有 効 測 定 (年) 20 ppm を 10 ppm を 1 時間 日平均値 ppmを超えた日 的評価による日 30ppm以上と											
	平均値 超えた回数 超えた日数 値 の の 2 % が 2 日以上連続 平均値が10ppm なったこと											
	測定日数 時 間 とその割合 とその割合 最高値 除外値 したことの有無 を超えた日数 がある日数											
	日	時間	ppm	回	%	日	%	ppm	ppm	有 ・ 無	日	日
国設大牟田	365	8719	0.3	0	0.0	0	0.0	3.5	0.5	無	0	0
不知火	365	8749	0.2	0	0.0	0	0.0	2.1	0.5	無	0	0

オ 浮遊粒子状物質

(令和元年度)

	1 時間値が 日平均値が 日平均値が0.10 環境基準の長期										
	有 効 測 定 (年) 0.20mg/m³を 0.10mg/m³を 1 時間 日平均値 mg/m³を超えた日 的評価による日										
	平均値 超えた時間数 超えた日数 値 の の 2 % が 2 日以上連続 平均値が0.10mg										
	測定日数 時 間 とその割合 とその割合 最高値 除外値 したことの有無 /m³を超えた日数										
	日	時間	mg/m³	時 間	%	日	%	mg/m³	mg/m³	有 ・ 無	日
国設大牟田	365	8746	0.014	0	0.0	0	0.0	0.089	0.035	無	0
三川	366	8769	0.020	0	0.0	0	0.0	0.087	0.043	無	0
新地	366	8761	0.019	0	0.0	0	0.0	0.104	0.040	無	0
七浦	350	8421	0.019	0	0.0	0	0.0	0.169	0.039	無	0
橘	366	8761	0.018	0	0.0	0	0.0	0.121	0.041	無	0
勝立	365	8765	0.018	0	0.0	0	0.0	0.106	0.041	無	0
不知火	365	8764	0.018	0	0.0	0	0.0	0.090	0.041	無	0

カ 微小粒子状物質

(令和元年度)

	日平均値が 98%値評価に								
	有 効 測 定 (年)		日平均値 35.0 μg/m ³ を 1 時間値 日平均値		よる日平均値				
	平均値		の最高値 超えた日数		の最高値 の98%値		が35.0 μg/m ³		
	測定日数	時 間	とその割合		を超えた日数				
	日	時間	μ g/m ³	μ g/m ³	日	%	μ g/m ³	μ g/m ³	日
国設大牟田 新地	342	8295	13.8	43.4	3	0.9	68	31.2	0
	365	8757	14.8	47.1	6	1.6	83	34.6	0

キ 光化学オキシダント

(令和元年度)

	昼間の1 時間			昼間の1 時間			昼間の日		
	昼 間	昼間測定	昼間の1	値が 0.06ppm	値が 0.12ppm	昼間1 時	最高1 時		
	測定日数	時 間	時間値の	を超えた日数	以上の日数	間 値 の	間 値 の		
	年平均值			と 時 間 数			と 時 間 数		
	最高値			最高値			平均値		
	日	時間	ppm	日	時間	日	時間	ppm	ppm
国設大牟田	362	5384	0.033	74	351	0	0	0.100	0.048
三川	366	5480	0.033	87	461	0	0	0.100	0.048
七浦	356	5314	0.033	80	397	0	0	0.108	0.048
橘	366	5473	0.035	90	512	0	0	0.108	0.049
勝立	366	5473	0.033	68	369	0	0	0.102	0.046

※ 昼間：午前5時から午後8時までの間（6時から20時までの1時間値が評価対象となる。）

ク 炭化水素

(令和元年度)

				午前6時から9時までの3時間における							
	測定時間	項目	(年)	測定日数	(年)	3時間平均値の		3時間平均値が 0.20ppmCを超えた 日数とその割合		3時間平均値が 0.31ppmCを超えた 日数とその割合	
			平均値		平均値	最高値	最低値	日	%	日	%
	時間		ppmC	日	ppmC	ppmC	ppmC	日	%	日	%
国設大牟田	8604	C H ₄	1.95		1.97	2.16	1.77				
	8604	NMHC	0.07	361	0.09	0.31	0.00	11	3.0	0	0.0
	8604	THC	2.02		2.06	2.38	1.81				
七 浦	8696	C H ₄	1.91		1.93	2.08	1.75				
	8696	NMHC	0.11	366	0.14	1.01	0.01	73	19.9	17	4.6
	8696	THC	2.02		2.08	2.98	1.77				
不知火	8658	C H ₄	1.90		1.92	2.10	1.73				
	8658	NMHC	0.12	365	0.14	0.36	0.05	43	11.8	2	0.5
	8658	THC	2.01		2.05	2.36	1.80				

※ CH₄：メタン、NMHC：非メタン炭化水素、THC：全炭化水素

※ 単位：ppmCは炭化水素類の濃度をメタン濃度に換算したもの。（例：1ppmCのプロパン（C₃H₈）は3ppmCとなる）

ケ 気象観測結果

(令和元年度)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間	月平均
降雨量 (mm)	91.5	66.0	145.5	420.0	511.0	106.0	35.5	30.0	94.0	81.5	102.5	108.5	1792.0	149.3
風向 主風向(16方位) 頻度 (%)	N	SE	N	SE	SE	N	N	N	CALM	N	CALM	N	N	—
	11.7	11.7	20.6	17.1	15.1	25.7	34.5	19.3	15.7	16.8	14.4	14.7	16.0	—
平均風速 (m/S)	2.1	2.2	2.4	2.3	2.3	2.3	2.2	1.6	1.6	1.8	1.9	2.2	2.1	—
平均温度 (℃)	16.5	21.8	24.5	27.2	28.7	26.9	21.5	14.7	9.8	9.3	9.5	12.5	18.6	—
平均湿度 (%)	69.1	64.9	75.4	84.4	80.1	79.1	74.6	72.6	74.6	75.0	70.5	70.3	74.2	—

※ 国設大牟田局調べ

(2) 浮遊じん中の重金属測定結果(ハイボリウムエアサンプラー法) (令和元年度)

調査地点	カドミウム	鉛	亜鉛及びその化合物
国設大牟田	3.8	35	510
新地	3.1	44	630

※ 検出下限値：カドミウム(0.043)、鉛(2)、亜鉛(4)

※ 定量下限値：カドミウム(0.14)、鉛(6.7)、亜鉛(13)

※ 単位：ng/m³

(3) 有害大気汚染物質測定結果

(令和元年度)

No	測定項目	環境基準等	単位	一般環境	固定発生源周辺		
				国設大牟田	新地	三川	七浦
1	アクリロニトリル	2.0	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.012	-	-	-
2	クロロホルム	18	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.16	-	-	-
3	1,2-ジクロロエタン	1.6	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.16	-	-	-
4	水銀及びその化合物	40	ng/m^3	-	2.1	1.9	2.2
5	ダイオキシン類	0.6	$\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$	0.0010	0.020	-	-
6	トルエン		$\mu\text{g}/\text{m}^3$	-	4.4	4.1	14
7	ベンゼン	3.0	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	1.3	0.86	0.87	0.99
8	ベンゾ (a) ピレン		ng/m^3	0.11	-	-	-
9	ジベンゾ (a, h) アントラセン		ng/m^3	0.014	-	-	-
10	ベンゾ (b) フルオランテン		ng/m^3	0.18	-	-	-
11	ベンゾ (k) フルオランテン		ng/m^3	0.063	-	-	-
12	インデノ (1, 2, 3-c, d) ピレン		ng/m^3	0.13	-	-	-
13	ジベンゾ (a, e) ピレン		ng/m^3	0.026	-	-	-
14	ジベンゾ (a, h) ピレン		ng/m^3	0.0015	-	-	-
15	ジベンゾ (a, i) ピレン		ng/m^3	0.0032	-	-	-
16	ジベンゾ (a, l) ピレン		ng/m^3	0.0005	-	-	-
17	ベンゾ (e) ピレン		ng/m^3	0.13	-	-	-
18	ベンゾ (j) フルオランテン		ng/m^3	0.12	-	-	-
19	クリセン		ng/m^3	0.14	-	-	-
20	ホルムアルデヒド		$\mu\text{g}/\text{m}^3$	2.2	2.1	2.0	-
21	鉛及びその化合物	500	ng/m^3	21	-	-	-
22	カドミウム及びその化合物	6	ng/m^3	1.7	-	-	-

※ 国設大牟田局のデータは、環境省有害大気汚染物質モニタリング結果より転記

※ クロム及び三価クロム化合物については、現時点で測定が困難なため、当面、クロム及びその化合物の全量（クロム換算値）を測定する

※ ダイオキシン類は、ダイオキシン類対策特別措置法に基づき実施

(4) 大気汚染防止法等に基づく届出状況

(令和2年3月31日現在)

	項	特定施設の種類	大気汚染防止法		電気事業法		県公害防止条例		計
			工場	事業場	工場	事業場	工場	事業場	
ばい煙発生施設等	1	ボイラー	42	28	9		8	34	121
	3	焙焼炉・焼結炉・煅焼炉	1						1
	5	溶解炉	10						10
	6	金属加熱炉	3						3
	9	焼成炉・熔融炉	6						6
	10	反応炉・直火炉	10						10
	11	乾燥炉	10	4					14
	12	電気炉	2						2
	13	廃棄物焼却炉		5					5
	14	銅・鉛・亜鉛の焙焼炉等	9						9
	19	塩素反応施設等	11						11
	29	ガスタービン			2	4			6
	30	ディーゼル機関		22	8	21			51
	31	ガス機関			2				2
		ばい煙発生施設等施設合計	104	59	21	25	8	34	251
		ばい煙発生施設等設置工場等数	25	24	10	21	8	22	110
排出施設	3	塗装の用に供する乾燥施設	1						1
		VOC排出施設合計	1						1
		VOC排出施設設置工場等数	1						1
一般粉じん発生施設	2	堆積場	14	18					32
	3	コンベア	56	6					62
	4	破砕機・摩砕機	14						14
	5	ふるい機		3					3
		一般粉じん発生施設等合計	84	27					111
		一般粉じん発生施設等設置工場等数	5	6					11
水銀排出施設	1	小型石炭混焼ボイラー			2				2
	2	石炭燃焼ボイラー(上記以外)			1				1
	5	非鉄金属製造二次施設(鉛、銅、亜鉛)	9						9
	7	セメントの製造の用に供する焼成炉	1						1
	8	廃棄物焼却炉		5					5
		水銀発生施設等合計	10	5	3				18
		水銀発生施設等設置工場等数	3	3	3				9

※ 項の欄の数字はそれぞれ、大気汚染防止法施行令別表第1（ばい煙発生施設）、別表第1の2（VOC排出施設）、別表第2（一般粉じん発生施設）、大気汚染防止法施行規則別表第3の3（水銀排出施設）の上欄の番号を表す

※ 電気事業法に規定される電気工作物及びガス事業法に規定されるガス工作物に係るばい煙発生施設等は電気事業法の欄に示す

※ 「福岡県公害防止等生活環境の保全に関する条例」の規定に基づくばい煙発生に係る特定施設（小型ボイラー）は県公害防止条例の欄に示す

2 ダイオキシシン類対策特別措置法に基づく届出状況

(令和2年3月31日現在)

	号	特定施設の種類	施設数
大気基準適用施設	3	亜鉛回収用焙焼炉、焼結炉、溶鋳炉、溶解炉、乾燥炉	3
	4	アルミニウム合金製造用焙焼炉、溶解炉、乾燥炉	1
	5	4 t/h 以上	1
		2 t/h 以上 4 t/h 未満	4
		2 t/h 未満	1
		特定施設数 合計	10
		工場・事業場数 合計	6
水質基準対象施設	2	カーバイド法アセチレンガス洗浄施設	1
	13	亜鉛回収施設	9
	16	廃棄物焼却炉の廃ガス洗浄施設、湿式集じん施設、灰の貯留施設	1
		特定施設数 合計	11
		工場・事業場数 合計	3

※ 号の欄の数字はそれぞれ、ダイオキシシン類対策特別措置法施行令別表第一（大気基準適用施設）、別表第二（水質基準対象施設）の番号を表す

3 水質

(1) 補助地点における河川の水質調査結果

(令和元年度)

河 川 名		堂面川水系 白 銀 川						隈 川						環境基準値 A類型
地 点 名 (類型)		新 高 田 橋 (A)						亀 崎 橋 (A)						
項 目 名		平均値	75%値	最小	～	最大	m/n	平均値	75%値	最小	～	最大	m/n	
生活 環境 項目	pH (水素イオン濃度)	7.6		7.2	～	8.0	0/6	7.3		7.1	～	7.4	0/6	6.5～8.5
	DO (溶存酸素量)	9.3		5.6	～	12	0/6	7.2		3.3	～	8.6	2/6	7.5 以上
	BOD (生物化学的酸素要求量)	1.3	1.5	0.7	～	1.6	0/6	2.7	3.2	1.6	～	3.9	4/6	2 以下
	SS (浮遊物質量)	2		<1	～	3	0/6	3		1	～	7	0/6	25 以下
	T-N (全窒素)	1.4		1.4	～	1.4	-/1	2.0		2.0	～	2.0	-/1	—
	T-P (全磷)	0.045		0.045	～	0.045	-/1	0.25		0.25	～	0.25	-/1	—
	大腸菌群数 (MPN/100mL)	4,900		4,900	～	4,900	1/1	33,000		33,000	～	33,000	1/1	1,000 以下
健康 項目	カドミウム				～						～			0.003 以下
	全シアン				～						～			不検出
	鉛				～						～			0.01 以下
	6価クロム				～						～			0.05 以下
	ひ素				～						～			0.01 以下
	総水銀				～						～			0.0005 以下
	ジクロロメタン				～						～			0.02 以下
	四塩化炭素				～						～			0.002 以下
	1,2-ジクロロエタン				～						～			0.004 以下
	1,1-ジクロロエチレン				～						～			0.1 以下
	シス-1,2-ジクロロエチレン				～						～			0.04 以下
	1,1,1-トリクロロエタン				～						～			1 以下
	1,1,2-トリクロロエタン				～						～			0.006 以下
	トリクロロエチレン				～						～			0.01 以下
	テトラクロロエチレン				～						～			0.01 以下
	1,3-ジクロロプロペン				～						～			0.002 以下
	チウラム				～						～			0.006 以下
	シマジン				～						～			0.003 以下
	チオベンカルブ				～						～			0.02 以下
	ベンゼン				～						～			0.01 以下
セレン				～						～			0.01 以下	
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素				～						～			10 以下	
ふっ素				～						～			0.8 以下	
ほう素				～						～			1 以下	
1,4-ジオキサン				～						～			0.05 以下	
その他の 項目	電気伝導度 (mS/m)	17		13	～	18	-/6	25		23	～	27	-/6	—
	透視度 (cm)	>100		>100	～	>100	-/6	96		73	～	>100	-/6	—

河 川 名		諏 訪 川					諏 訪 川					環境基準値 A類型		
地 点 名 (類型)		臼 井 橋 (A)					教 楽 来 橋 (A)							
項 目 名		平均値	75%値	最小	～	最大	m/n	平均値	75%値	最小	～		最大	m/n
生活 環境 項目	pH (水素イオン濃度)	7.8		7.6	～	8.0	0/6	7.8		7.7	～	7.9	0/6	6.5～8.5
	DO (溶存酸素量)	8.9		7.6	～	10	0/6	9.3		8.1	～	10	0/6	7.5 以上
	BOD (生物化学的酸素要求量)	1.6	1.5	0.9	～	3.3	1/6	1.2	1.4	0.7	～	1.8	0/6	2 以下
	SS (浮遊物質質量)	9		2	～	34	1/6	5		2	～	11	0/6	25 以下
	T-N (全窒素)	1.5		1.4	～	1.4	-/1	1.7		1.7	～	1.7	-/1	—
	T-P (全燐)	0.081		0.13	～	0.13	-/1	0.082		0.082	～	0.082	-/1	—
	大腸菌群数 (MPN/100mL)	17,000		9,200	～	9,200	1/1	11,000		11,000	～	11,000	1/1	1,000 以下
健康 項目	カドミウム				～						～			0.003 以下
	全シアン				～						～			不検出
	鉛				～						～			0.01 以下
	6価クロム				～						～			0.05 以下
	ひ素				～						～			0.01 以下
	総水銀				～						～			0.0005 以下
	ジクロロメタン				～						～			0.02 以下
	四塩化炭素				～						～			0.002 以下
	1,2-ジクロロエタン				～						～			0.004 以下
	1,1-ジクロロエチレン				～						～			0.1 以下
	シス-1,2-ジクロロエチレン				～						～			0.04 以下
	1,1,1-トリクロロエタン				～						～			1 以下
	1,1,2-トリクロロエタン				～						～			0.006 以下
	トリクロロエチレン				～						～			0.01 以下
	テトラクロロエチレン				～						～			0.01 以下
	1,3-ジクロロプロペン				～						～			0.002 以下
	チウラム				～						～			0.006 以下
	シマジン				～						～			0.003 以下
	チオベンカルブ				～						～			0.02 以下
	ベンゼン				～						～			0.01 以下
セレン				～						～			0.01 以下	
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素				～						～			10 以下	
ふっ素				～						～			0.8 以下	
ほう素				～						～			1 以下	
1,4-ジオキサン				～						～			0.05 以下	
その他の 項目	電気伝導度 (mS/m)	19		14	～	20	-/6	17		14	～	18	-/6	—
	透視度 (cm)	66		15	～	>100	-/6	81		36	～	>100	-/6	—

河 川 名		堂面川水系 長 溝 川					堂 面 川					環境基準値 B類型		
地 点 名 (類型)		前 田 橋 (B)					田 町 橋 (B)							
項 目 名		平均値	75%値	最小	～	最大	m/n	平均値	75%値	最小	～	最大	m/n	
生活環境項目	pH (水素イオン濃度)	8.0		7.5	～	8.8	1/6	7.6		7.3	～	7.9	0/6	6.5～8.5
	DO (溶存酸素量)	10		7.4	～	13	0/6	9.3		7.0	～	10	0/6	5 以上
	BOD (生物化学的酸素要求量)	2.1	2.4	1.6	～	2.6	0/6	2.6	2.7	1.9	～	4.5	1/6	3 以下
	SS (浮遊物質量)	2		<1	～	4	0/6	2		<1	～	4	1/6	25 以下
	T-N (全窒素)	1.7		1.7	～	1.7	-/1	1.3		1.3	～	1.3	-/1	—
	T-P (全磷)	0.20		0.20	～	0.20	-/1	0.16		0.16	～	0.16	-/1	—
	大腸菌群数 (MPN/100mL)	11,000		11,000	～	11,000	1/1	49,000		49,000	～	49,000	1/1	5,000 以下
健康項目	カドミウム	<0.0003		<0.0003	～	<0.0003	0/1				～			0.003 以下
	全シアン	<0.1		<0.1	～	<0.1	0/1				～			不検出
	鉛	<0.005		<0.005	～	<0.005	0/1				～			0.01 以下
	6価クロム	<0.02		<0.02	～	<0.02	0/1				～			0.05 以下
	ヒ素	<0.005		<0.005	～	<0.005	0/1				～			0.01 以下
	総水銀	<0.0005		<0.0005	～	<0.0005	0/1				～			0.0005 以下
	ジクロロメタン	<0.002		<0.002	～	<0.002	0/1				～			0.02 以下
	四塩化炭素	<0.0002		<0.0002	～	<0.0002	0/1				～			0.002 以下
	1,2-ジクロロエタン	<0.0004		<0.0004	～	<0.0004	0/1				～			0.004 以下
	1,1-ジクロロエチレン	<0.002		<0.002	～	<0.002	0/1				～			0.1 以下
	シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004		<0.004	～	<0.004	0/1				～			0.04 以下
	1,1,1-トリクロロエタン	<0.0005		<0.0005	～	<0.0005	0/1				～			1 以下
	1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006		<0.0006	～	<0.0006	0/1				～			0.006 以下
	トリクロロエチレン	<0.001		<0.001	～	<0.001	0/1				～			0.01 以下
	テトラクロロエチレン	<0.0005		<0.0005	～	<0.0005	0/1				～			0.01 以下
	1,3-ジクロロプロペン	<0.0002		<0.0002	～	<0.0002	0/1				～			0.002 以下
	チウラム	<0.0006		<0.0006	～	<0.0006	0/1				～			0.006 以下
	シマジン	<0.0003		<0.0003	～	<0.0003	0/1				～			0.003 以下
	チオベンカルブ	<0.002		<0.002	～	<0.002	0/1				～			0.02 以下
	ベンゼン	<0.001		<0.001	～	<0.001	0/1				～			0.01 以下
セレン	<0.002		<0.002	～	<0.002	0/1				～			0.01 以下	
その他の項目	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	1.7		1.7	～	1.7	0/1				～			10 以下
	ふっ素	<0.2		<0.2	～	<0.2	0/1				～			0.8 以下
	ほう素	<0.1		<0.1	～	<0.1	0/1				～			1 以下
	1,4-ジオキサン	<0.005		<0.005	～	<0.005	0/1				～			0.05 以下
	電気伝導度 (mS/m)	28		25	～	32	-/6	22		21	～	24	-/6	—
透視度 (cm)	97		87	～	>100	-/6	96		12	～	>100	-/6	—	

河 川 名		大牟田川						環境基準値 B類型
地 点 名 (類型)		七 浦 橋 (B)						
項 目 名		平均値	75%値	最小	～	最大	m/n	
生活環境項目	pH (水素イオン濃度)	8.0		7.7	～	8.5	0/6	6.5～8.5
	DO (溶存酸素量)	11		8.9	～	13	0/6	5 以上
	BOD (生物化学的酸素要求量)	2.7	3.2	2.2	～	3.6	2/6	3 以下
	SS (浮遊物質量)	4		1	～	10	0/6	25 以下
	T-N (全窒素)	3.3		3.3	～	3.3	-/1	—
	T-P (全磷)	0.71		0.71	～	0.71	-/1	—
	大腸菌群数 (MPN/100mL)	49,000		49,000	～	49,000	1/1	5,000 以下
健康項目	カドミウム	<0.0003		<0.0003	～	<0.0003	0/1	0.003 以下
	全シアン	<0.1		<0.1	～	<0.1	0/1	不検出
	鉛	<0.005		<0.005	～	<0.005	0/1	0.01 以下
	6価クロム	<0.02		<0.02	～	<0.02	0/1	0.05 以下
	ヒ素	<0.005		<0.005	～	<0.005	0/1	0.01 以下
	総水銀	<0.0005		<0.0005	～	<0.0005	0/1	0.0005 以下
	ジクロロメタン	<0.002		<0.002	～	<0.002	0/1	0.02 以下
	四塩化炭素	<0.0002		<0.0002	～	<0.0002	0/1	0.002 以下
	1,2-ジクロロエタン	<0.0004		<0.0004	～	<0.0004	0/1	0.004 以下
	1,1-ジクロロエチレン	<0.002		<0.002	～	<0.002	0/1	0.1 以下
	シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004		<0.004	～	<0.004	0/1	0.04 以下
	1,1,1-トリクロロエタン	<0.0005		<0.0005	～	<0.0005	0/1	1 以下
	1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006		<0.0006	～	<0.0006	0/1	0.006 以下
	トリクロロエチレン	<0.001		<0.001	～	<0.001	0/1	0.01 以下
	テトラクロロエチレン	<0.0005		<0.0005	～	<0.0005	0/1	0.01 以下
	1,3-ジクロロプロペン	<0.0002		<0.0002	～	<0.0002	0/1	0.002 以下
	チウラム	<0.0006		<0.0006	～	<0.0006	0/1	0.006 以下
	シマジン	<0.0003		<0.0003	～	<0.0003	0/1	0.003 以下
	チオベンカルブ	<0.002		<0.002	～	<0.002	0/1	0.02 以下
	ベンゼン	<0.001		<0.001	～	<0.001	0/1	0.01 以下
	セレン	<0.002		<0.002	～	<0.002	0/1	0.01 以下
その他の項目	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	3.1		3.1	～	3.1	0/1	10 以下
	ふっ素	0.42		0.42	～	0.42	0/1	0.8 以下
	ほう素	0.15		0.15	～	0.15	0/1	1 以下
	1,4-ジオキサン	<0.005		<0.005	～	<0.005	0/1	0.05 以下
	電気伝導度 (mS/m) 透視度 (cm)	51 91		35 67	～	69 >100	-/6 -/6	—

河 川 名		堂面川水系白銀支流 手 鎌 南 川						堂面川水系白銀支流 手 鎌 南 川						環境基準値 B類型
地 点 名 (類型)		甘 木 橋 (B準用)						安 入 寺 橋 (B準用)						
項 目 名		平均値	75%値	最小	～	最大	m/n	平均値	75%値	最小	～	最大	m/n	
生活環境項目	pH (水素イオン濃度)	8.0		7.4	～	8.6	1/6	7.7		7.3	～	8.1	0/6	6.5～8.5
	DO (溶存酸素量)	9.4		5.0	～	12	0/6	8.8		4.9	～	13	1/6	5 以上
	BOD (生物化学的酸素要求量)	3.9	4.8	2.2	～	7.0	3/6	2.3	2.8	1.6	～	2.9	0/6	3 以下
	SS (浮遊物質)	7		1	～	17	0/6	13		2	～	50	1/6	25 以下
	T-N (全窒素)	2.4		2.4	～	2.4	-/1	1.2		1.2	～	1.2	-/1	—
	T-P (全燐)	0.38		0.38	～	0.38	-/1	0.18		0.18	～	0.18	-/1	—
	大腸菌群数 (MPN/100mL)	49,000		49,000	～	49,000	1/1	7,900		7,900	～	7,900	0/1	5,000 以下
健康項目	カドミウム	<0.0003		<0.0003	～	<0.0003	0/1							0.003 以下
	全シアン	<0.1		<0.1	～	<0.1	0/1							不検出
	鉛	<0.005		<0.005	～	<0.005	0/1							0.01 以下
	6価クロム	<0.02		<0.02	～	<0.02	0/1							0.05 以下
	ひ素	<0.005		<0.005	～	<0.005	0/1							0.01 以下
	総水銀	<0.0005		<0.0005	～	<0.0005	0/1							0.0005 以下
	ジクロロメタン	<0.002		<0.002	～	<0.002	0/1							0.02 以下
	四塩化炭素	<0.0002		<0.0002	～	<0.0002	0/1							0.002 以下
	1,2-ジクロロエタン	<0.0004		<0.0004	～	<0.0004	0/1							0.004 以下
	1,1-ジクロロエチレン	<0.002		<0.002	～	<0.002	0/1							0.1 以下
	シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004		<0.004	～	<0.004	0/1							0.04 以下
	1,1,1-トリクロロエタン	<0.0005		<0.0005	～	<0.0005	0/1							1 以下
	1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006		<0.0006	～	<0.0006	0/1							0.006 以下
	トリクロロエチレン	<0.001		<0.001	～	<0.001	0/1							0.01 以下
	テトラクロロエチレン	<0.0005		<0.0005	～	<0.0005	0/1							0.01 以下
	1,3-ジクロロプロペン	<0.0002		<0.0002	～	<0.0002	0/1							0.002 以下
	チウラム	<0.0006		<0.0006	～	<0.0006	0/1							0.006 以下
	シマジン	<0.0003		<0.0003	～	<0.0003	0/1							0.003 以下
	チオベンカルブ	<0.002		<0.002	～	<0.002	0/1							0.02 以下
	ベンゼン	<0.001		<0.001	～	<0.001	0/1							0.01 以下
	セレン	<0.002		<0.002	～	<0.002	0/1							0.01 以下
その他の項目	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	2.0		2.0	～	2.0	0/1							10 以下
	ふっ素	<0.2		<0.2	～	<0.2	0/1							0.8 以下
	ほう素	<0.1		<0.1	～	<0.1	0/1							1 以下
	1,4-ジオキサン	<0.005		<0.005	～	<0.005	0/1							0.05 以下
	電気伝導度 (mS/m)	28		22	～	31	-/6	72		19	～	230	-/6	—
項目	透視度 (cm)	74		28	～	>100	-/6	68		10	～	>100	-/6	—

(2) 流入水路 (生活排水) の水質調査結果 (令和元年度)

調 査 場 所	七夕橋下流水路<堂面川>				御幸返橋下流水路<堂面川>				中牟田川 <白銀川>				亀崎橋上流水路 <隈川>			
項 目 名	平均値	最小	～	最大	平均値	最小	～	最大	平均値	最小	～	最大	平均値	最小	～	最大
pH (水素イオン濃度)	7.9	7.7	～	8.3	8.8	8.6	～	9.2	7.6	6.9	～	8.4	7.8	7.6	～	7.9
DO (溶存酸素量)	8.6	8.1	～	9.6	12	8.5	～	16	8.6	7.5	～	9.6	9.5	8.4	～	11
BOD (生物化学的酸素要求量)	5.9	3.2	～	8.3	8.9	5.0	～	12	2.0	1.0	～	2.2	4.7	3.8	～	6.5
SS (浮遊物質)	6	2	～	15	6	2	～	12	3	1	～	7	2	1	～	6
T-N (全窒素)	1.5	1.5	～	1.5	4.7	6.4	～	6.4	3.7	3.7	～	3.7	5.8	5.8	～	5.8
T-P (全燐)	0.20	0.20	～	0.20	1.2	1.2	～	1.2	0.36	0.36	～	0.36	0.56	0.56	～	0.56
ノルマルヘキサン抽出物質 (鉱油類)	<0.5	<0.5	～	<0.5	<0.5	<0.5	～	<0.5	<0.5	<0.5	～	<0.5	<0.5	<0.5	～	<0.5
同上 (動植物油脂類)	<0.5	<0.5	～	<0.5	1.1	1.1	～	1.1	<0.5	<0.5	～	<0.5	<0.5	<0.5	～	<0.5

(3) 大牟田エコタウン雨水調整池調査結果 (令和元年度)

地 点 名		エコタウン調整池				環 境 基 準 値
項 目 名		平均値	最小	～	最大	
生活環境項目	pH(水素イオン濃度)	9.4	9.3	～	9.4	7.0～8.3（海域C）
	DO(溶存酸素量)	11	9.1	～	12	2以上（海域C）
特殊項目	溶解性鉄	<0.1	<0.1	～	<0.1	—
	溶解性マンガン	<0.1	<0.1	～	<0.1	—
健康項目	カドミウム	<0.003	<0.003	～	<0.003	0.003以下
	鉛	<0.01	<0.01	～	<0.01	0.01以下
	全シアン	<0.1	<0.1	～	<0.1	検出されないこと
	ひ素	<0.01	<0.01	～	<0.01	0.01以下
	6価クロム	<0.05	<0.05	～	<0.05	0.05以下
	総水銀	<0.0005	<0.0005	～	<0.0005	0.0005以下

備考

- ※ 測定回数 (年間) : 補助地点における河川調査 6 回、流入水路調査 4 回、大牟田エコタウン雨水調整池調査 2 回
- ※ 単位: 透視度、pH、大腸菌群数、電気伝導度以外は mg/L
- ※ m/n : 環境基準に適合しない日数/総測定日数
- ※ 75%値: 測定した年間データのうち、値の小さい方から 75%の範囲にある最高値をいう 河川の水質調査は年間 6 回測定を行っているため、値の小さい方から 5 番目のデータを 75%値とする
- ※ 測定値は、有効数字を 2 桁とし、3 桁目以下を切り捨てる (ただし、pH については、小数第 2 位を四捨五入し、小数点以下 1 桁までとする) また、定量下限値の桁を下回る桁については切り捨てる
- ※ 平均値は、3 桁目を四捨五入し、有効数字 2 桁又は定量下限値を下回る桁を四捨五入する 平均値の算出にあたっては、定量下限値未満は定量下限値の値を用いる

4 騒音・振動

(1) 騒音規制法に基づく特定施設の届出状況

(令和2年3月31日現在)

特定施設の名称		施設数	特定施設の名称		施設数
1	金属加工機械	106	5	建設用資材製造機械	4
	イ 圧延機械	3		イ コンクリートプラント	2
	ロ 製管機械	0		ロ アスファルトプラント	2
	ハ ベンディングマシン	5	6	穀物用製粉機	0
	ニ 液圧プレス	39	7	木材加工用機械	20
	ホ 機械プレス	23		イ ドラムバーガー	0
	ヘ せん断機	29		ロ チッパー	0
	ト 鍛造機	0		ハ 碎木機	0
	チ ワイヤフォーミングマシン	0		ニ 帯のこ盤	2
	リ プラスト	3		ホ 丸のこ盤	9
	ヌ タンブラー	0		ヘ かんな盤	9
	ル 切断機	7	8	抄紙機	0
2	空気圧縮機及び送風機	1,273	9	印刷機械	48
3	土石用又は鉱物用の破碎機、 摩砕機、ふるい及び分級機	137	10	合成樹脂用射出成形機	65
4	織機	0	11	鋳造型機	2
			合 計		1,655

(2) 振動規制法に基づく特定施設の届出状況

(令和2年3月31日現在)

特定施設の名称		施設数	特定施設の名称		施設数
1	金属加工機械	68	5	コンクリートブロックマシン並びに コンクリート管製造機械及びコンク リート柱製造機械	0
	イ 液圧プレス	18	6	木材加工用機械	0
	ロ 機械プレス	28		イ ドラムバーガー	0
	ハ せん断機	21		ロ チッパー	0
	ニ 鍛造機	1	7	印刷機械	11
	ホ ワイヤフォーミングマシン	0	8	ゴム練用又は合成樹脂練用のロール機	0
2	圧縮機	157	9	合成樹脂用射出成形機	61
3	土石用又は鉱物用の破碎機、 摩砕機、ふるい及び分級機	64	10	鋳造型機	0
4	織機	0	合 計		361

(3) 福岡県公害防止等生活環境の保全に関する条例に基づく

騒音に係る特定施設の届出状況

(令和2年3月31日現在)

特定施設の名称		施設数	特定施設の名称		施設数
イ	金属加工機械	3	ロ	クーリングタワー	2
	(一) 圧延機械	0	ハ	ドラム缶洗浄機	0
	(二) ベンディングマシン	0	ニ	ロータリーキルン	0
	(三) せん断機	0	ホ	重油バーナー	8
	(四) プラスト	1	ヘ	電気炉	0
	(五) 高速切断機及びプラズマ切断機	1	合 計		13
	(六) 研磨機	1			

(4) 騒音規制法及び振動規制法に基づく特定建設作業の届出状況

(令和2年3月31日現在)

騒音規制法に基づく特定建設作業の種類	件数	振動規制法に基づく特定建設作業の種類	件数
1 くい打機等を使用する作業	3	1 くい打機等を使用する作業	1
2 びょう打機等を使用する作業	0	2 鋼球を使用して建築物その他の	
3 さく岩機を使用する作業	17	工作物を破壊する作業	0
4 空気圧縮機を使用する作業	2	3 舗装版破砕機を使用する作業	0
5 コンクリートプラント等を使用する作業	0	4 ブレーカーを使用する作業	9
6 バックホウを使用する作業	1		
7 トラクターショベルを使用する作業	0		
8 ブルドーザーを使用する作業	0		
合 計	23	合 計	10

(5) 自動車騒音・道路交通振動測定結果

時間帯の区分	観測時間	自動車騒音(C類型) 単位: dB					要請限度	
		等価騒音レベル	時間率騒音レベル			基準時間帯平均騒音レベル (L _{Aeq})		環境基準
			L _{Aeq}	L _{A5}	L _{A50}			
昼間	6～7	61.1	68.5	49.0	43.2	65	70	75
	7～8	64.4	71.1	58.4	45			
	8～9	67.2	72.1	65.3	50.6			
	9～10	64.7	69.8	62.1	51.2			
	10～11	65.8	71	63.7	45.2			
	11～12	65.3	69.8	64.2	52.5			
	12～13	65.0	69.6	63.0	45.4			
	13～14	65.5	70.0	63.6	51.4			
	14～15	65.0	70.1	62.8	48.8			
	15～16	65.5	70.8	63.2	50.4			
	16～17	66.2	70.5	64.4	50.1			
	17～18	65.2	70.0	63.1	49.5			
	18～19	65.8	70.7	64.0	48.7			
	19～20	65.6	71.3	62.3	45.2			
	20～21	64.8	70.7	59.5	47.2			
	21～22	63.1	69.4	58.6	43.4			
	22～23	60.8	67.7	53.9	42.8			
	23～0	59.0	65.9	49.4	41.4			
	0～1	60.6	68.0	48.6	41.8			
	1～2	57.4	64.2	45.7	39.5			
	2～3	57	62.9	43.8	39.5			
3～4	59.3	65.5	42.2	39.5				
4～5	55.4	60.9	43.5	41.8				
5～6	57.7	65.3	45.7	41.3				

時間帯の区分	観測時間	道路交通振動(第2種地域)単位: dB				交通量(台/600秒)			
		振動レベル	時間区分の平均値	要請限度	大型車	普通車	二輪車	合計	
									L10
夜間	6～7	28.2	30	65	3	44	6	53	
	7～8	35.3			8	102	5	115	
昼間	8～9	35.7	38	70	7	271	13	291	
	9～10	38.7			13	180	5	198	
	10～11	39.9			19	231	7	257	
	11～12	40.1			18	276	10	304	
	12～13	37.6			10	242	5	257	
	13～14	39.3			16	262	12	290	
	14～15	38.1			14	238	6	258	
	15～16	38.6			12	266	9	287	
	16～17	39.3			18	271	11	300	
	17～18	34.5			9	278	14	301	
	18～19	37.6			11	317	13	341	
	19～20	36.8			13	223	4	240	
	20～21	35.9			5	215	2	222	
	21～22	34.8			5	105	2	112	
	22～23	32.3			2	71	0	73	
	23～0	31.5			2	36	0	38	
	0～1	32.6			3	26	2	31	
	1～2	35.3			1	22	0	23	
2～3	23.8	2	17	0	19				
3～4	26.7	3	13	1	17				
4～5	24	4	13	0	17				
5～6	27.5	4	17	1	22				

国道 208 号 有明町（大牟田市役所前）【C 類型】

※ 自動車騒音・ 道路交通振動 測定年月日：令和元年 11 月 20 日～21 日 交通量は上下線の合計

(6) 自動車騒音面的評価結果

ア 評価対象区間及び道路調査結果

H27年度 交通センサ調査 単位区間番号	評価区間番号	路線名	起点－終点	評価区間延長 (Km)	車線数	道路構造	遮音壁	舗装種別	騒音発生強度の 把握の方法	
11680	11680－1	一般国道208号	東新町 ～ 日出町	0.3	4	平面	無	低騒音舗装なし	2	11690-2を準用
11690	11690－1		日出町 ～ 中白川町	0.2	4	平面	無	低騒音舗装なし	2	11690-2を準用
	11690－2		中白川町 ～ 草木	1.1	2	平面	無	低騒音舗装なし	1	実施
	11690－3		草木 ～ 草木	0.5	2	平面	無	低騒音舗装なし	2	11690-2を準用
	11690－4		草木 ～ 甘木	1.1	2	平面	無	低騒音舗装なし	2	11690-2を準用

- ※ 測定年月日：令和元年 11 月 12 日～13 日
- ※ 騒音発生強度の把握の方法
- 1：沿道騒音レベルの実測による方法
 - 2：他の評価区間における騒音測定結果を準用する方法
 - 3：自動車の交通量及び速度の実測結果により推計する方法
 - 4：交通量が僅少の事由により、環境基準値以下と決定する方法

イ 測定結果（道路近傍騒音レベル・背後地騒音レベル）（単位：dB）

測定地点番号	評価区間番号	路線名	道路近傍騒音レベル (L_{Aeq})		背後地騒音レベル (L_{A95})	
			昼間	夜間	昼間	夜間
11690	11690-1	一般国道208号	68	67	46	45

- ※ 1. 測定地点番号：面的評価支援システムで設定した測定地点番号に対応
- ※ 2. 騒音に係る環境基準：昼間 70dB、夜間 65dB（幹線交通を担う道路に近接する空間における特例）
- ※ 3. 自動車騒音の要請限度：昼間 75dB、夜間 70dB（幹線交通を担う道路に近接する区域）

ウ 戸数と割合の詳細結果

道路種別	面的評価結果(全体)					面的評価結果(近接空間)					面的評価結果(非近接空間)				
	住居等戸数 ①+②+③+ ④	昼夜とも基 準値以下①	昼のみ基準 値以下②	夜のみ基準 値以下③	昼夜とも基 準値超過④	住居等戸数 ①+②+③+ ④	昼夜とも基 準値以下①	昼のみ基準 値以下②	夜のみ基準 値以下③	昼夜とも基 準値超過④	住居等戸数 ①+②+③+ ④	昼夜とも基 準値以下①	昼のみ基準 値以下②	夜のみ基準 値以下③	昼夜とも基 準値超過④
一般国道	866	826	34	1	5	313	283	30	0	0	553	543	4	1	5
		95.4%	3.9%	0.1%	0.6%		90.4%	9.6%	0.0%	0.0%		98.2%	0.7%	0.2%	0.9%
都道府県道	1943	1942	0	0	1	802	802	0	0	0	1141	1140	0	0	1
		99.9%	0.0%	0.0%	0.1%		100%	0.0%	0.0%	0.0%		99.9%	0.0%	0.0%	0.1%
全体	2809	2768	34	1	6	1115	1085	30	0	0	1694	1683	4	1	6
		98.5%	1.2%	0.1%	0.2%		97.3%	2.7%	0.0%	0.0%		99.4%	0.2%	0.1%	0.3%

- ※ 上記表に示す全体の戸数には、複数の評価区間に属する住居等が重複して計上されているため、本文中の表 2-4-6 の全戸数とは異なる
- ※ 上記表に示す全体の戸数は、過去からの評価戸数を含めている
- ※ 割合は小数第 2 位を四捨五入しているため合計値に誤差が生じる場合がある

(7) 一般地域の環境騒音測定結果

東萩尾町（萩尾団地公園南側）【A類型】 沖田町（沖田団地第三公園西側）【B類型】

時間帯の区分	観測時間	東萩尾町(萩尾団地公園南側)(A類型) 単位: dB						沖田町(沖田団地第三公園西側)(B類型) 単位: dB					
		等価騒音レベル	時間率騒音レベル			基準時間帯平均騒音レベル (L _{Aeq})	環境基準	等価騒音レベル	時間率騒音レベル			基準時間帯平均騒音レベル (L _{Aeq})	環境基準
			L _{AS}	L _{AS0}	L _{AS5}				L _{AS}	L _{AS0}	L _{AS5}		
昼間	6～7	33.3	35.9	32.4	31.1	39	55	41.1	44.3	39.8	37.6	43	55
	7～8	40.7	43.6	39.6	38.0			43.5	47.2	42.3	38.9		
	8～9	44.2	44.6	39.7	37.5			45.6	49.1	43.7	41.2		
	9～10	40.0	42.5	38.7	36.9			43.6	48.3	40.6	35.6		
	10～11	36.6	40.8	34.1	31.9			41.7	46.4	37.3	32.9		
	11～12	39.6	43.7	35.6	31.8			43.1	48.7	40.2	36.0		
	12～13	35.0	38.8	33.5	31.7			41.4	46.8	38.8	35.6		
	13～14	41.8	45.4	36.0	32.3			42.9	47.0	38.6	34.2		
	14～15	36.6	40.2	35.1	32.6			42.0	47.6	38.2	33.7		
	15～16	38.4	44.0	34.4	29.4			41.2	46.8	37.6	32.5		
	16～17	38.6	44.6	34.1	30.1			41.4	45.9	39.6	34.2		
	17～18	41.5	46.3	36.2	31.8			42.9	46.6	40.4	33.5		
	18～19	35.4	38.8	31.7	29.7			44.3	47.6	40.0	34.1		
	19～20	33.4	35.6	31.6	30.1			42.9	46.4	39.0	33.9		
	20～21	38.4	45.1	34.0	32.1			39.8	44.6	37.3	34.4		
	21～22	37.4	42.1	34.4	32.4			41.4	46.9	37.6	34.0		
夜間	22～23	34.9	37.4	33.9	32.3	34	45	38.3	42.5	37.0	34.9	37	45
	23～0	34.0	36.5	33.1	31.1			38.4	43.0	36.6	33.9		
	0～1	33.2	36.2	32.6	30.5			34.9	39.6	32.9	31.7		
	1～2	32.4	34.5	31.8	30.3			37.5	42.0	36.0	33.1		
	2～3	30.7	32.3	30.2	28.6			36.0	40.0	34.7	33.0		
	3～4	34.1	36.0	33.4	31.8			37.6	42.0	35.2	33.3		
	4～5	35.4	37.6	34.4	33.0			36.2	39.7	32.9	31.4		
	5～6	33.3	36.5	32.2	30.7			36.7	41.6	34.0	31.9		

※ 測定年月日：令和元年12月3日～4日

5 環境保全に関する主な出来事

(令和元年度)

日付	主 な 事 業 及 び 出 来 事
7.23	食品衛生責任者養成講習会（食品衛生協会主催）
7.24	荒尾市岩本橋「生物教室」開催（関川・諏訪川流域会議主催）
7.25	親子わくわく環境講座「植物でアートに挑戦！夏の植物たたき染め」
8.8	親子わくわく環境講座「エコキャンドル作り～親子で楽しく工作～」
8.17	親子わくわく環境講座「かわレンジャー～身近な水辺探検隊～」
11.13	食品衛生責任者養成講習会（食品衛生協会主催）
11.17	エコタウンフェア・緑のカーテンコンテスト表彰式
2.4	食品衛生責任者養成講習会（食品衛生協会主催）